

# スタートアップ・エコシステムの 拠点形成を目指して

東京大学大学院工学系研究科教授・産学協創推進本部副部長  
G T I E 主幹機関 東京大学プログラム代表者

各務茂夫  
かがみ しげお



## スタートアップ・エコシステム 拠点形成戦略の始動

2019年6月、内閣府は文部科学省、経済産業省と連名で「Beyond Limits. Unlock Our Potential.」世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」を発表した。都市や大学を巻き込み、起業家教育やアクセラレーター機能を抜本的に強化すること等を通じて、起業家がこれまでの制約を超越し(Beyond Limits)、日本の潜在能力を開放する(Unlock Our Potential)、スタートアップ・エコシステムの拠点形成を目指したものである。2020年7月、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めたことに伴い、スタートアップ向けのリスクマネー供給の減少、事業展開や研究開発の停滞等、自律的なエコシステム形成に向けたリスクが顕在化したこと

から、前述した戦略に基づき、エコシステムの中核となる「スタートアップ・エコシステム拠点都市」が選ばれた。具体的には、グローバル拠点都市として四つの大都市エリア(東京、名古屋・浜松、大阪・京都・神戸、福岡)、および四つの地域拠点札幌、仙台、広島、北九州)が選定された。世界に伍するスタートアップを支える支援体制の構築に向けて、政府系スタートアップ支援機関の支援プラットフォームがベースとなり、官民ファンドによるリスクマネー供給の強化等が打ち出された。

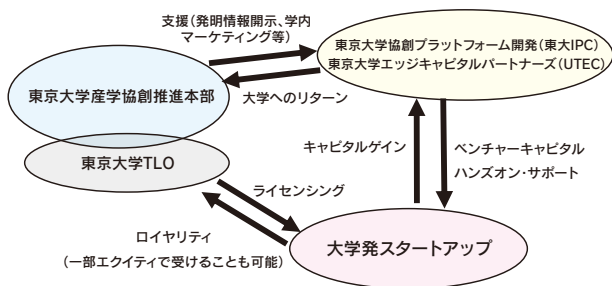
### 東京コンソーシアムの取り組み

上記の拠点都市のうち「スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム」には、東京都、渋谷区、川崎市、横浜市、茨城県、つくば市、千葉市等が参画し、スタートアップ

やベンチャーキャピタル(V C)・大企業等の支援者が圧倒的に集積する東京都心部(渋谷、六本木・虎ノ門、大手町・丸の内、日本橋)を核に、研究開発拠点を有する各都市(川崎、つくば、横浜、千葉)とハブ&スポークのつながりで連結している。また首都圏の有力大学が連携し、研究開発成果の事業化を促進するとともに、参画する自治体を中心となってスタートアップの新技術・新サービスの実証を行うことが求められた。

また、2021年、科学技術振興機構(J S T)は、前述の「スタートアップ・エコシステム拠点都市」において、中核となる大学・機関から構成されるコンソーシアムを対象に、「大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援」事業を開始した。同事業は、大学から生まれる優れた技術シーズの実用化やアントレプレナーシップ

図表1 東京大学におけるスタートアップ支援体制  
(技術移転+リスク資金の提供)



図表2 大学発スタートアップ数ランキング

累積ベース (各年10月末時点)			
大学	2023	2022	2021
1 東京大学	420	370	329
2 慶応義塾大学	291	236	175
3 京都大学	273	264	242
4 大阪大学	252	191	180
5 筑波大学	236	217	178
6 東北大学	199	179	157
7 東京理科大学	191	151	126
8 早稲田大学	145	128	100
9 名古屋大学	143	137	115
10 立命館大学	135	110	87

出所：経済産業省調査(2024年5月)

の構築、EDGE-PRIME Initiativeと称する高校生等若年層向けの教育プログラム等の実践、G T I E内および全国プラットフォーム(P F)間の連携を強めていくための活動拠点の設置や共同イベントの実施、参画機関でのノウハウの共有と知見の高度化のためのワーキンググループの設置、G T I E関連スタートアップのグローバル展開を

### G T I Eの構成と活動

を有する人材の育成を強力に支援し、コロナ後の社会変革や社会課題解決につながる社会的インパクトの大きいスタートアップが持続的に創出される体制を構築することを目指すプログラムである。具体的には、(1)起業活動支援プログラムの運営、(2)アントレプレナーシップ人材育成プログラム(4)拠点都市のエコシステムの形成・発展——について、一括して支援することを目的としている。この事業から、G T I E(Greater Tokyo Innovation Ecosystem: ジータイ)が、グローバル拠点都市である東京のプラットフォームとして生まれた。

G T I Eの活動は、2021年11月にスタートした。東京大学、早稲田大学、東京科学大学を3主幹機関とし、共同機関として筑波大学、千葉大学、東京農工大学、お茶の水女子大学、神奈川県立保健福祉大学、横浜国立大学、横浜市立大学、慶応義塾大学、東京都立大学、芝浦工業大学、ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン、CIC Toranomon、渋谷スクランブルスクエアの13機関、幹事自治体として、東京都、つくば市、茨城県、川崎市、横浜市、渋谷区、V Cや企業等の協力機関を含めると約90の機関がG T I Eに参画している。

### 東京大学の役割

東京大学はこれまで技術移転機関である東京大学T L O、V C・投資機能を担う東京大学エッジキャピタルパートナーズ(U T E C)、東京大学協創プラットフォーム開発(東大I P C)と密接な連携を通じてスタートアップ支援を行ってきた。大学発ベンチャー創出のトップランナーを走り続けることができたのも、この連携があったからだと確信している(図表1・2)。

東京大学はG T I Eの主幹機関の一つとして、わが国の強みを活かしたイノベーションを牽引し、グローバルに活躍できるアントレプレナー人材の育成を加速し、わが国のスタートアップ・エコシステム構築において、主導的な役割を担いたいと願っている。グローバル・スタートアップ創出に向けて、次のステージへとそのシステムを高度化させ、国際的なプレゼンスを向上させるとともに、国内各地域のアントレプレナーシップ教育の充実にも貢献していきたい。

(注)東京科学大学：2024年10月1日、旧東京工業大学と旧東京医科歯科大学が統合